

市記入用

指定管理者評価シート(第1次評価)

所 管 課	市民生活部生活活性室文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	平成27年4月1日～28年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	市内社会体育施設(川西市総合体育館・弓道場、川西市市民体育館、川西市市民運動場、川西市市民温水プール、川西市東久代運動公園)
	所在地	川西市火打1-1-4 (川西市総合体育館・弓道場) 川西市向陽台1-11-1 (川西市市民体育館) 川西市向陽台1-11-2 (川西市市民運動場) 川西市火打1-3-3 (川西市市民温水プール) 川西市東久代1-14 (川西市東久代運動公園)
	設置目的	スポーツ及びレクリエーションを通じて体育の普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため
利用料金制		非利用料金制・一部利用料金制・完全利用料金制
指定管理者	名 称	(公財)川西市文化・スポーツ振興財団
	所在地	川西市火打1-1-4
指定管理業務の内容		<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1) 社会体育施設及び東久代運動公園の設置目的を達成するための事業の実施に関する業務 (2) 社会体育施設及び東久代運動公園の使用の許可、その取消しその他社会体育施設及び東久代運動公園に関する業務 (3) 社会体育施設及び東久代運動公園の使用料の徴収及び減免に関する業務 (4) 社会体育施設及び東久代運動公園の使用料の還付に関する業務 (5) 社会体育施設及び東久代運動公園の維持管理並びに付属施設及び維持管理に関する業務 (6) その他社会体育施設及び東久代運動公園の設置目的を達成するため市長が必要と認める業務</p>
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日 (市民体育館・市民運動場は平成26年4月1日から平成28年7月31日まで)

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A
<p>事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。</p>	B
<p>利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</p>	A
<p>施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p>	A
<p>[所見]</p> <p>事業計画に基づき、概ね設置目的に沿った事業を実施していた。全体の使用料は減少となったものの、使用件数、使用人数は前年度と比較し増加している。市民温水プールは梁工事、市民運動場はリニューアル工事のため一時休館していたため使用人数が減少しているが、総合体育館、弓道場、市民体育館では前年度と比較し使用人数が増加しており、広報活動や利用者満足度向上への取組などに一定の効果があったと推察できる。また、市民運動場が休場となったことも東久代運動公園の使用人数増に繋がっていると考えられる。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>今年度は工事により市民温水プール及び市民運動場を長期休館した影響が大きかったが、市全体の施策の中でスポーツを楽しむ市民の数を増加させていけるよう、今後とも市と連携し要因を分析するとともに、利用の少ない時間帯等の有効利用について検討を続けていただきたい。</p>	

(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	A
<p>[所見]</p> <p>施設の目的に則って、さまざまなスポーツ教室等の開催や、卓球・バドミントン等の個人使用を実施する等、施設の目的に則って有効に活用したといえる。また、スポーツ教室等の参加者総数が前年度と比較して488人(1.6%)増加していることは評価ができる。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>スポーツ教室等の事業については、今後とも市民ニーズを的確に把握し、プログラム内容、教室開催の曜日・時間帯・料金等を精査しながら、参加者の増加に努めていただきたい。</p>	
(3) 利用者の満足度	A
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B
<p>[所見]</p> <p>毎年独自でアンケート調査を実施しており、利用者の気付きや苦情に対し適切に対応しており、特に窓口対応についての満足度が85.7%(普通を含めると98.2%)を占めることは、評価に値する。</p> <p>一方、設備に関する満足度は37.8%に留まるものの、限られた予算のなかで可能な限り対応を続けている。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>施設の老朽化が進む中で、設備に関する利用者の満足度を上げることは困難であるが、今後ともアンケートの結果を十分に分析し、利用者の声を真摯に受け止め、工夫を凝らしてサービスの向上に努めていただきたい。</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A
(1) 経費の節減	A
<p>施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。</p>	A
<p>指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。</p>	A
<p>[所見]</p> <p>消費税増税に伴い電気料金が継続的に値上げされる中、前年度に引き続き、サービスの低下に繋がらないよう留意したうえで点灯照明数の減やその他節電に取り組んでおり、全施設の光熱費合計で前年比6.74%減を達成している。 また、27年度に3回実施した東久代運動公園の災害時工作物撤去及び復旧から、日常的な利用者増のための広報活動など、職員自らの手で実施し経費の節減に努めている。</p>	
<p>[改善項目]</p> <p>業務縮小や安全上の観点から外部委託を検討する等の見直しをする場合は、業務効率化と経費の節減、さらにはサービス向上のバランスに十分配慮しながら取り組んでいただきたい。</p>	
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
<p>収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。</p>	
<p>[所見]</p>	
<p>[改善項目]</p>	
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	評価なし
<p>収支のバランスが適切であったか。</p>	
<p>経費の効果的、効率的な執行が行われたか。</p>	
<p>収支の内容に不適切な点はなかったか。</p>	
<p>[所見]</p>	
<p>[改善項目]</p>	

評価項目及び評価のポイント	評価レベル
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A
(1) 管理運営の実施状況	A
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	A
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A
施設の維持管理が適切に行われたか。	A
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。	B
<p>〔所見〕 職員の配置、教育については、利用者の満足度アンケートからも適切に行われていたと判断できる。 施設の維持管理には、老朽化している現状に対し限られている予算で、重要性の高いものから適宜修繕が行われた。緊急性のある修繕に対しても予算流用により対応するなど工夫がなされた。</p>	
<p>〔改善項目〕 施設の老朽化が進む中、修繕については今後とも市と密接に情報交換を行い、限られた予算の範囲内で、必要性、優先順位等を明確にし、計画的に実施していただきたい。 文化部門との合同事業は、より効果的なPR方法、また、既存の活動団体との連携等を検討しながら、参加者の増加に努めていただきたい。</p>	

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	B
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	B
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A
<p>[所見] ホームページや広報誌、折り込みなど、様々な媒体を通じ必要な情報は発信されており、個人情報の取扱いについても適正に行われていたといえる。 また、大きな事故や犯罪発生なく1年間施設の管理運営ができたことは、日頃の安全管理及び防犯対策の徹底の賜物と評価できる。</p> <p>主に夏季の台風や大雨等による河川の増水に警戒し、年に1回、施設の撤去訓練を実施しており、荒天時には実際に工作物撤去を行うなど、適切に対応したといえる。</p> <p>施設予約システムにおいては、利用者が平等に抽選申込みが出来るようシステム化されている。利用者の多い時間帯は当選しづらい状況が続いているが、施設のキャパシティの問題等が影響しており、解決は容易ではないと考える。</p>	
<p>[改善項目] 施設の老朽化が進行し、利用者の高齢化が進むなか、より一層安全面に注意を払って施設の管理運営をしていただきたい。 また、施設の利用において、引き続き平等、公平な取り扱いを念頭に対応していただきたい。</p>	

総合評価

[所見]

評価ランク

A

前年度と比較し、全体の使用件数が1.8%、使用人数が10.4%増加しているものの、使用料収入は1.4%減少している。前年度に台風11号による災害で使用不可となった東久代運動公園は当年度に供用再開されたが、市民運動場がリニューアル工事(12月1日～3月31日)、また市民温水プールが梁塗装工事(2月1日～3月31日)によりそれぞれ休館となったことが影響していると考えられる。

一方、自主事業については、施設の目的に則って、さまざまなスポーツ教室等の開催や、卓球・バドミントン等の個人使用を実施する等、一定の目的は達成していた。また、スポーツ教室等の事業については、事業収入、受講者数とも前年度比増(97,484円、487人増)となっており、一昨年度から増加が続いていることも含めて非常に評価できる。今後とも利用者の意見を反映させた事業提案を期待する。

全体的には、事業計画に基づき、概ね適切な事業の遂行並びに予算執行をしたと認められる。近年の消費税増税や物価の上昇により指定管理料の増を余儀なくされているなかで、光熱水費の節減や、柔軟な予算流用により施設の修繕維持を実施するなど努力が伺える。

また、1年間通して、大きな事故がなく、施設の管理運営ができたことは、日頃の安全管理の徹底の賜物であるといえる。今後、施設の老朽化、利用者の高齢化が進行し、また気温上昇やゲリラ豪雨の増加等気象状況の変化が予想され、市民ニーズがますます多様化していくと思われることから、一層の注意を払い維持管理運営にあたっていただきたい。

平成27年度の総合的評価としては、全体をとおして、非常に安定かつ継続的に事業を推進できたといえる。今後とも、生涯スポーツの推進や健康づくり等、少子高齢化や多様なライフスタイルに対応した市の施策を展開できる施設を目指していただきたい。

[改善項目]

施設の老朽化という大きな課題がある中、大変難しい事業運営が求められるが、市所管及び文化部門との調整を上手く図りながら、創意工夫を凝らし更に効率的な運営を目指していただきたい。